

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

科目番号：大学-402

科 目 名		時間数(90 分)			
Android アプリケーション開発（基礎）		講 義	演 習	実 習	合 計
		15		30	45
科 目 概 要	Android の基本 API、ユーザインタフェースを中心に学習する。 基本 API、ユーザインタフェースを講義で理解し、実習にて定着をはかる。 なお、本科目は、IT 企業で Android アプリケーション開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。				
学 習 到 達 目 標	• Android のバージョンによる特徴を習得する。 • Android の開発環境、アーキテクチャの特徴を習得する。 • Android のアプリ構成要素、アプリの作成の流れを習得する。 • Android のクラスライブラリを習得する。 • Android の基本 API、イベントやリスナについて基礎知識を習得する。 • Android の画面レイアウト、リストビューやダイアログの基礎知識を習得する。 • Android のユーザインタフェース（テキストビューとイメージビュー、ボタンとダイアログ、チェックボックスとラジオボタン、エディットテキスト、オプションメニュー）の基礎知識を習得する。 • Android の画面遷移（Intent）の基礎知識を習得する。				
講 義 計 画	回	内 容	回	内 容	
	1	Android アプリ開発環境の作成 Android Studio のインストール	16	画面遷移と Intent クラス 3 アクティビティのライフサイクル Log クラス、ログレベル、確認 (Logcat)	
	2	はじめての Android アプリ作成 1 Android Studio プロジェクトの作成 エミュレータ (AVD) の作成 Android アプリの起動	17	オプションメニューとコンテキストメニュー 1 リストビューのカスタマイズ	
	3	はじめての Android アプリ作成 2 Android Studio の画面構成とプロジェクトのファイル構成	18	オプションメニューとコンテキストメニュー 2 オプションメニューの実装	
	4	はじめての Android アプリ作成 3 Android アプリ開発の基本手順	19	オプションメニューとコンテキストメニュー 3 戻るメニューの実装	
	5	ビューとアクティビティ 1 ビュー、レイアウトエディタ 画面レイアウト (LinearLayout)	20	演習 1 アプリケーションの作成	
	6	ビューとアクティビティ 2 画面 UI (ラジオボタン、選択ボックス リスト)	21	演習 2 アプリケーションの作成	
	7	イベントとリスナ 1 アプリ起動時に実行されるメソッド イベントハンドラ、イベントリスナ	22	演習 3 アプリケーションの作成	
	8	イベントとリスナ 2 イベントリスナの設定	23	演習 4 アプリケーションの作成	
	9	リストビューとダイアログ 1 リストタップのイベントリスナ	24	演習 5 アプリケーションの作成	
	10	リストビューとダイアログ 2 アクティビティ中でリストを生成	25	演習 6 アプリケーションの作成	
	11	リストビューとダイアログ 3 ダイアログを表示する	26	演習 7 アプリケーションの作成	
	12	ConstraintLayout 1 特徴、layout_width/height UI 部品の配置	27	演習 8 アプリケーションの作成	

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

	13	ConstraintLayout 2 ガイドライン、チェーン機能	28	演習 9 アプリケーションの作成
	14	画面遷移と Intent クラス 1 2 行のリストと SimpleAdapter を生成	29	演習 1 0 アプリケーションの作成
	15	画面遷移と Intent クラス 2 Android の画面遷移	30- 44	総合実習
			45	科目試験
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社
	主教材	基礎 & 応用力をしっかりと育成！ Android アプリ開発の教科書 第 3 版 Kotlin 対応 なんちゃって開発者にな らないための実践ハンズオン	翔泳社	
実 習 環 境	Android Studio3			
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体
成 績 評 価 方 法	・科目試験（6 0 %） ・実習評価（4 0 %）			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

科目番号：大学-403

科 目 名			時間数(90 分)			
Android アプリケーション開発（応用）			講 義	演 習	実 習	合 計
					30	30
科 目 概 要	Android アプリケーション開発 1 で基礎を学習した前提とする。アプリの構築および、複数人による開発ノウハウの習得を目的としてグループ演習を行う。 本科目での演習結果を卒業研究での課題設定の題材とするべく意識付けを行う。 なお、本科目は、IT 企業で Android アプリケーション開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	設計から製造、テスト工程を経てアプリケーションを制作する。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1 ～ 3	演習説明 企画立案				
	4	企画プレゼン発表				
	5 ～ 30	制作 グループで小規模アプリケーションを制作する				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	基礎 & 応用力をしっかりと育成！ Android アプリ開発の教科書 第 3 版 Kotlin 対応 なんちゃって開発者にならないための実践ハンズオン		翔泳社		
実 習 環 境	Android Studio3					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・成果物			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：大学-421

科 目 名			時間数(90 分)			
国家試験対策Ⅳ			講 義	演 習	実 習	合 計
			3 0			3 0
科 目 概 要	経済産業省主催の情報処理技術者試験（基本情報、応用情報、情報処理安全確保支援士、IT パスポート、情報セキュリティマネジメント）の対策講座を実施する。					
学 習 到 達 目 標	上記の資格取得を目標に講座を展開する。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1 ～ 30	対策授業（前期日程試験） ・ 応用情報技術者試験 ・ 情報処理安全確保支援士試験 の受験対策 対策授業（CBT 試験） ・ 基本情報技術者試験 ・ 情報セキュリティマネジメント試験 ・ IT パスポート試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	基本情報技術者科目 A 問題集		インフォテック・サーブ		
	主教材	基本情報技術者科目 B 問題集		インフォテック・サーブ		
	主教材	情報セキュリティマネジメント 予想問題集		i T E C		
	主教材	応用情報 午後の重点対策		i T E C		
	主教材	情報処理安全確保支援士 パーフェクトラーニング対策問題集		i T E C		
	副教材	既往問題（情報処理技術者試験）				
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	経済産業省主催	基本情報技術者試験		独立行政法人情報処理推進機構（IPA）		
	経済産業省主催	応用情報技術者試験				
	経済産業省主催	情報処理安全確保支援士試験				
	経済産業省主催	情報セキュリティマネジメント試験				
	経済産業省主催	IT パスポート試験				
成 績 評 価 方 法	・ 模擬試験の平均（50％） ・ 出欠状況（50％）			＜評価基準＞ 100～90 点：秀		
				89～80 点：優		
79～70 点：良						
69～60 点：可						
59 点以下：不可						

科目番号：シス-306

科 目 名			時間数(90 分)			
クライアント/サーバーシステム構築			講 義	演 習	実 習	合 計
			5		10	15
科 目 概 要	Ubuntu(Linux)を使用した、ネットワークサーバの構築と運用を学習する。 構築したサーバは卒業研究で利用可能なものとする。					
学 習 到 達 目 標	グループで Ubuntu(Linux)を使用した、ネットワークサーバの構築を実際に体験し、サーバ構築ができるようになることを目標とした。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	Linux とは		16		
	2	Ubuntu デスクトップのインストール		17		
	3	Ubuntu デスクトップの利用		18		
	4	Ubuntu デスクトップの設定と応用		19		
	5	コマンド入門		20		
	6	シェルの活用		21		
	7	ユーザーとグループ		22		
	8	プロセスとジョブの管理		23		
	9	Ubuntu サーバーのインストールとログイン		24		
	10	VPS で Ubuntu を使う		25		
	11	ネットワークの管理		26		
	12	サービスの管理		27		
	13	送信専用メールサーバーの構築		28		
	14	Docker で Ubuntu を使う		29		
	15	科目試験		30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	配布資料				
実 習 環 境	サーバ用 PC (Ubuntu) クライアント PC (Windows10/11)					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	科目試験			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：シス-308

科 目 名			時間数(90 分)			
ソフトウェアテストとデプロイメント			講 義	演 習	実 習	合 計
			1 0	3	2	1 5
科 目 概 要	ソフトウェア開発過程における品質管理として重要な各種ソフトウェアテストの技法について、講義・演習・実習を通して品質管理マネジメントについて理解する。					
学 習 到 達 目 標	テスト設計書やシステム移行計画書を作成し、システムの導入・移行手順について学ぶことで、システム開発における品質管理の重要性を理解する。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ソフトウェアテストとは		13	移行設計作業	
	2	ブラックボックステストとホワイトボックステスト		14	移行設計事例研究	
				15	科目試験	
	3	同値クラステスト 境界値テスト				
	4	デシジョンテーブルテスト				
	5	状態遷移テスト				
	6	組合せテスト テスト技法適用チャート				
	7	テストドキュメントの種類				
	8	テストドキュメントの正しい書き方				
	9	JUnit 実習				
	10					
	11	テスト実施のモニタリング				
	12	システム移行と移行計画				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		ソフトウェアテストの教科書		ソフトバンククリエイティブ		
副教材		配布教材				
実 習 環 境	・ Junit (Eclipse)					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	科目試験			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科 目 名			時間数(90 分)				
Python プログラミング (基礎)			講 義	演 習	実 習	合 計	
			1 0		2 0	3 0	
科 目 概 要	1 年時に学習した Python を基礎として、Python3 エンジニア認定基礎取得に向けて学習をおこなう。						
学 習 到 達 目 標	Python の基本的文法やライブラリの使い方を理解して、Python3 エンジニア認定基礎の合格を目指す。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1	インタプリタの起動		14	モジュールをスクリプトとして実行する、 モジュールの検索パス、「コンパイル済」 Python ファイル		
	2	数値・文字列・リスト					
	3	制御構造ツール if 文、for 文、range()関数、break 文 continue 文、ループにおける else 節、 pass 文					
	4	関数の定義① 引数のデフォルト値、キーワード引数、 任意引数のリスト、引数リストのアンパ ック		16 17 18 19	標準モジュール、dir()関数、パッケージ、 パッケージから*をインポート、パッケージ 内の相互参照、複数のディレクトリにまた がるパッケージ		
	5	関数の定義② lambda (ラムダ) 式、ドキュメンテーシ ョン文字列、関数注釈 (関数アノテーシ ョン)		20 21	構文エラー、例外、例外の処理、例外の送 出、ユーザー定義例外		
	6	データ構造① リストのスタックとキュー		22 23 24 25 26 27	クラス スコープと名前空間、クラス定義の構 文、クラスオブジェクト、インスタン スオブジェクト 継承、多重継承		
	7 8	データ構造② リスト内包、入れ子のリスト内包		28 29	Python3 エンジニア認定基礎模擬試験① Python3 エンジニア認定基礎模擬試験②		
	9 10 11	del 文、タプルとシーケンス、集合 (set)		30	科目試験		
	12 13	ループのテクニック、条件についての補 足、シーケンスの比較、その他の型の比 較					
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
		主教材	オリジナルプリント		学校オリジナル		
			Python チュートリアル 第4 版		オライリージャパン		
		徹底攻略 Python 3 エンジニア認定		インプレス			
実 習 環 境	・Python3 ・開発環境群 Anaconda, Jupyter Notebook (または Visual Code Studio)						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
	Python3 エンジニア認定基礎			Python エンジニア育成推進協会			
成 績 評 価 方 法	科目試験 (70%) 演習課題 (30%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可			

科目番号：大学-412

科 目 名			時間数(90 分)			
ビジネスプランニング			講 義	演 習	実 習	合 計
			8	2 2		3 0
科 目 概 要	提案書作成という課題を通して、決められたテーマについて「考え」「話し合い」「プレゼンテーション」を行うことで、企画や提案を実現に結びつけるための考え方と技法を習得する。					
学 習 到 達 目 標	企画、提案の基本的な考え方を理解するとともに、導き出したアイデアを提案書としてまとめ、訴求力のあるプレゼンテーションによって聴衆に提案内容を理解させることができる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	コンセンサス（合意） 実習：遭難脱出		14	マインドマップ	
	2	第1章 企画・提案を知ろう		15	実習：北九州のマインドマップ作成	
	3			16	エクスカッション法	
	4	第2章 提案書の書き方①		17	実習：特徴×テーマで発想	
	5			18	フェルミ推定	
	6	第2章 提案書の書き方②		19	実習：論理的思考による概算	
	7			20	科目試験	
	8	第3章 アイデアのまとめ方①		21	グループディスカッション	
	9			～		
	10			29		
	11	ITを用いたアイデア出し		30	科目試験	
	12	実習：3コマ漫画				
	13	第3章 アイデアのまとめ方②				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	企画と提案		電子開発学園		
実 習 環 境	Word、PowerPoint が利用できる PC 環境					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	科目試験			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：大学-410

科 目 名			時間数(90 分)			
卒業研究			講 義	演 習	実 習	合 計
			2		178	180
科 目 概 要	本学科最後の科目である。これまでの集大成として卒業研究作品をチームで制作する。企画から制作まで実施し発表会を通してプレゼンテーションの実践力を養う。					
学 習 到 達 目 標	制作活動を通して、問題の発見と解決、並びに進捗を意識した制作経験を身に付ける。作品発表会での発表経験からプレゼンに必要な情報の伝え方やプレゼン技法を身に付ける。また、チーム内の連携の取り方なども学習する。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1 2	卒業研究の意義を理解し過去の発表会を視聴		141 ～	発表リハーサル	
	3 ～ 7	企画立案とレビュー		175 176 ～	科目試験（卒業研究発表会）	
	8 ～ 10	役割分担決めと制作計画書作成		180		
	11 ～ 120	作品制作				
	121 ～ 140	プレゼン準備 （フリップ、発表台本、実演練習）				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材					
	副教材					
実 習 環 境	作品制作に必要な環境を適宜調達する。					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	発表会でのチーム評価を基準にチーム貢献度を考慮した学生ごとの評価を行う。			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：大学-413

科 目 名			時間数(90 分)			
キャリアデザインⅢ			講 義	演 習	実 習	合 計
			6 0			6 0
科 目 概 要	就職試験に向けて知識と即応力の養成を図る。一般常識や作文などを学習し筆記試験に対応できるよう実力を養成する。 また、面接に関しては、ロールプレイングを取り入れ演習する。					
学 習 到 達 目 標	筆記試験・面接で合格ができ、早めに内定が取れるようにする。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1 ～ 20	筆記試験対策（SPI、一般常識） グループワーク対策 作文・小論論文対策				
	21 ～ 40	個別面接練習 グループ面接練習				
	41 ～ 60	個別フォロー				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		就職活動ガイドブック				
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法				<評価基準> 3 分の 2 以上の出席： 認定		

科目番号：大学-410

科 目 名			時間数(90 分)			
卒業研究			講 義	演 習	実 習	合 計
			2		178	180
科 目 概 要	本学科最後の科目である。これまでの集大成として卒業研究作品をチームで制作する。企画から制作まで実施し発表会を通してプレゼンテーションの実践力を養う。					
学 習 到 達 目 標	制作活動を通して、問題の発見と解決、並びに進捗を意識した制作経験を身に付ける。作品発表会での発表経験からプレゼンに必要な情報の伝え方やプレゼン技法を身に付ける。また、チーム内の連携の取り方なども学習する。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1 2	卒業研究の意義を理解し過去の発表会を視聴		141 ～	発表リハーサル	
	3 ～ 7	企画立案とレビュー		175 176 ～	科目試験（卒業研究発表会）	
	8 ～ 10	役割分担決めと制作計画書作成		180		
	11 ～ 120	作品制作				
	121 ～ 140	プレゼン準備 (フリップ、発表台本、実演練習)				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材					
	副教材					
実 習 環 境	作品制作に必要な環境を適宜調達する。					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	発表会でのチーム評価を基準にチーム貢献度を考慮した学生ごとの評価を行う。			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：大学-411

科 目 名				時間数(90 分)			
総合研究				講 義	演 習	実 習	合 計
						180	180
科 目 概 要	企業での OJT により、実務を学ぶ。						
学 習 到 達 目 標	社会人として必要なビジネスマナーや実務を職場で働きながら学習する。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1 ～ 180	企業実習 月 1 回レポートを提出する。					
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社			
	主教材	実習先による					
実 習 環 境	実習先による						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
成 績 評 価 方 法	レポートにより評価を行う。			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可			